

ノムラの教え

弱者の戦略99の名言

『選手を観察するとは、その選手をもっと知りたいと願うことである』

選手を育てるには、あるいは再生させるには、選手を観察し、「この選手の武器は何か」

「何が足りないのか」を見抜くことが何よりも大切だ。そして、そのために必要なのが、

「その選手をもっと知りたい」と強く願う気持ちである。言い換えれば、どれだけ愛情をもって接するかということだ。

能力を発揮できぬまま若くして自由契約に追い込まれたり、まだ可能性が残っているのに年齢や故障のため引導を渡されたりした選手を私はこれまで何人も見てきた。

そのたびに思ったものだ——「どうしてこの選手のよさに気づいてやれないのか」と。

選手の持っている力を最大限引き出してやれないのは、指導者の怠慢にほかならない。選手の隠れた才能や長所を見抜き、引き出し、活かす方法を見つけるのは、指導者の責任であり使命である。そして、そのためには「この選手をなんとかしてやりたい」という愛情が必要不可欠なのである。

文・野村克也 text by Katsuya Nomura

Profile

1935年 京都府生まれ。
54年 京都府立峰山高校卒業。南海ホークス(現・福岡ソフトバンク)ヘテスト生で入団。
4年目に本塁打王。65年 戦後初の三冠王(史上2人目)など、MVP5度、首位打者1度、本塁打王9度、打点王7度。ベストナイン19回、ゴールデングラブ賞1回。
70年 監督(捕手兼任)に就任。73年 パリーグ優勝。のちにロッテオリオンズ、西武ライオンズでプレー。
80年に45歳で現役引退。通算成績2901安打、657本塁打、1988打点、打率.277。
89年 野球殿堂入り。
90年 ヤクルトスワローズ監督に就任、4度優勝(日本一3度)。99年から3年間、阪神タイガース監督。
2002年から社会人野球・シダックスのゼネラル・マネージャー兼監督。
03年 都市対抗野球大会で準優勝。06年度 東北楽天ゴールデンイーグルス監督就任。
09年度 退任。24年間の監督生活で1565勝1563敗。「生涯一捕手」が座右の銘。

